



昭和三年九月十三日 (二)

<p><b>生徒募集</b></p> <p>○非常時日本婦人の職業 近代の日本は婦人にも經濟の獨立を呼かけて参りました 婦人の職業として産婆看護婦といふ業は最も似つかはしません。 い天職であります。</p> <p>○卒業年限僅か一年 開業すれば収益も多大で家政の内助となり、家庭の人 とならつても直接役に立つのは此の産婆看護婦の業で有ります。</p> <p>○戦争と日本婦人としての覺悟 開業すれば収益も多大で家政の内助となり、家庭の人 一日緩急あれば戦時看護婦として愛する母國への奉仕に務めませう。</p> <p>○古い傳統の歴史と縣下第一の好成績を誇る平町一丁目の石城產科婦看護婦学校へ御入學下さい。</p> <p>石城產科婦看護婦学校へ御入學下さい。</p>		

<p><b>歴史は古く、内容充實</b></p> <p>本校より磐中二年へ編入試験合格 二名出願して何れも合格</p> <p>合格率百パーセント</p>		

<td></td>		
<p><b>賣物あり</b></p> <p>醤油掛船機械一槽、火入釜四石五斗入 (ツバ釜)煎釜重量三十貫位、四尺桶五本、半切桶五本、溜桶四本、吳服店向硝子戸棚七尺モノ、重戸棚硝子戸付六尺モノ其他小モノ澤山あります。</p> <p>○場所平町内 (姓名在社)</p> <p>一、派出多忙に付會員募集 一、本會は各御家庭の便宜を計り御手不足の場合に臨時に御手傳に上ります。</p> <p>姪産婦や患者の附添 派出料一日分 家庭雜用一切 金五拾錢 遠近に不拘堅質なる婦人を派出させます</p> <p>○寄宿の便あり 福島縣石城郡平町八幡小路八三(電呼九三)</p> <p>会主鶴沼隆子</p>		

（三月三十日 四倉町 佐藤一二）

（四倉町仲町（小學校正門脇）山内亨吉 電話六九一一番）

（平町研町公園下）

（電話六九一一番）

（電話六九一一番）